

「砂漠に咲くユリ」(2017. 10. 15)

「荒れ野よ、荒れ地よ、喜び躍れ。砂漠よ、喜び、花を咲かせよ。野ばらの花を一面に咲かせよ。花を咲かせ、大いに喜んで、声をあげよ。砂漠はレバノンの栄光を与えられ、カルメルとシャロンの輝きに飾られる。人々は主の栄光と我らの神の輝きを見る。」
(イザヤ 35:1-2)

砂漠に花が咲くものだろうか？咲くとしたらどんな花だろう。砂漠に美しいユリを見つけ感動したというある方の文章を見て、ネットで調べてみた。確かに綺麗なユリが咲いている。周りが砂漠だけに綺麗に見える。砂漠にもこんなに綺麗な花が咲くのだ。

私たちは心に深い傷を負い、孤独にさいなまされる。それはまさに荒れ野であり砂漠である。しかし、喜び、喜び踊れと叫ぶ声がある。なぜならば、そこに花が咲くのである。一面に咲くのである。それはレバノンの栄光、シャロンの輝きである。主の栄光であり、神の輝きである。主イエスこそ砂漠に咲くユリ、私たちの花、栄光、輝きである。

教会はキリストの体であり、一人ひとりはその肢体である。私たちは主イエスに結ばれて有機的に繋がっているのだ。それゆえに教会を美しくしていきたい、そしてお互いが主にあってさらに美しくなりたいものだ。その営みの一端を分かち合いたい。

9月下旬、礼拝堂の側面に2個のブランケットが設置された。曇りの日とか夕礼拝の時など左側の空間が暗かったが、これで解消できそうである。また、既報であるが、玄関前にタイマーによる照明が設置され、現在は夕方5時30分より9時まで明かりが灯り、坂道の8個のチューリップの灯りと相まって、教会を美しくしている。

さらに10月上旬、坂道の右側にアジサイの苗が21本、植栽された。数年後のアジサイの綺麗な姿が目に見えよう。加齢とともに坂道を登るのにきつさを覚える方がいらっしゃると思う。でも、途中一休みしてアジサイの美しさに励まされて、主に向かうことができるのではないかな。なお、この作業に合わせて坂道を一部拡大・補強した。

10月8日は神学校日であった。S神学生が帰省し当教会で奨励の奉仕をしてくれた。内容は「会員随想」の通りである。その後歓迎茶話会を開き、質問や励ましの言葉を交わし、兄弟のために祈りを合わせた。いろいろな困難の中での学びです。いつも覚えて祈っていきましょう。来年、さらに成長した姿を見ることを楽しみにして。

召天者記念礼拝・墓前礼拝のご案内

ご遺族・関係者の皆様、11月5日(日)10時30分より礼拝堂において召天者記念礼拝を捧げます。遺影を飾り、召天者を偲びます。また、礼拝後、前郷の教会墓地に移動し、12時45分(予定)より墓前礼拝を捧げます。お誘い合わせの上、ご参列くださるようご案内申し上げます。横手教会 牧師・戸井田栄、長老会一同